

平成20年3月31日
水産庁

水産物の市況について（平成20年3月及び4月）

—東京都中央卸売市場における平成20年3月（平成20年2月21日～3月20日集計）の市況と、
4月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成20年3月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べやや増加となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は横ばいに推移しました。

II 平成20年4月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月よりやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（3月中旬に島根県浜田沖で漁獲があったものの各地とも漁は低調）

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は前月よりやや増加すると見込まれるものの、卸売価格については需要期であることから横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月よりやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。（主漁場は北部太平洋海域、駿河湾から伊豆諸島周辺、東シナ海周辺、五島西沖、対馬周辺海域、山陰沿岸、新潟沖合）

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月並みと見込まれるものの、卸売価格は生鮮向けの水揚げが減少していることから全体的に見るとやや強含みに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月よりやや増加と見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は山陰沿岸、九州西沖、犬吠埼～房総沿岸）

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮)」

入荷量は前月と比べ増加すると見込まれるものの、卸売価格は例年より水揚げが少なく供給不足感が解消されないこともありやや弱含みに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～51	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)
(単位:千トン、円/kg)

	3 月		前 月		前々月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
20年	55	825	53	806	49	980
前年	48	875	53	824	824	969

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格
(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	3 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	825	93	127	86
さけ・ます(平均)	614	97	92	106
(ぎんざけ塩蔵品)	683	100	99	109
(あきさけ塩蔵品)	420	100	102	138
(ときさけ塩蔵品)	750	100	128	106
(べにざけ塩蔵品)	1000	100	100	111
(さけ類冷凍品)	586	99	94	111
さば(生鮮品)	440	104	115	94
するめいか(平均)	508	126	97	96
(生鮮品)	716	173	122	110
(冷凍品)	321	100	95	104
あじ(生鮮品)	625	93	81	95
まぐろ(冷凍品)	1,485	104	108	117
(めばち冷凍品)	867	102	100	103
(きはだ冷凍品)	712	101	87	117
(くろまぐろ冷凍品)	3,860	100	119	131
(みなみまぐろ冷凍品)	2,880	100	125	154
かつお(生鮮品)	1,597	135	133	174

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:3月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成15年~19年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課調整班
代表 03-3502-8111
内線 6616 山尾、嶋田
直通 03-6744-2350